

薬剤師のステップアップを応援する

Kyorin 

ApoTalk

2022

Special Feature

慢性咳嗽の診断, 原因疾患, 治療戦略

金光禎寛 (名古屋市立大学大学院医学研究科呼吸器・免疫アレルギー内科学助教)

5 | 薬剤師も身につけたい
優しさを伝えるユマニチュード® 新連載
相手が気持ちよく言葉を受け止めてくれる
短い時間でよい関係を築くための技術と理念“ユマニチュード”

6 | 拝見！隣の薬剤部・薬局
公益社団法人昭和会 いまきいれ総合病院薬剤課

No.80



相手が気持ちよく言葉を受け止めてくれる 短い時間でよい関係を築くための技術と理念“ユマニチュード”

群馬大学大学院保健学研究科老年看護学 准教授 伊東美緒



病院、高齢者施設、保険薬局などで、薬剤師が薬剤を使用する人と直接話す機会が増えました。話す相手が、薬剤の説明を理解し、自らの疑問や自身の生活について語ってくださる場合は特に問題を感じることはありません。しかし、待ち時間が長いことや、薬剤に関する説明を理解できないことなどに対して苛立ち、その怒りをぶつけられたときには、気を遣い、エネルギーを消耗してしまいます。「今日、対応が難しい方がおられた」と、同僚に伝えることでストレスを軽減することはできますが、それでは次のときにも同じ状況に陥る可能性があります。(対応が難しかった)と思ったときが、コミュニケーション技術を磨くタイミングです。

このときに参考にしていきたいのがユマニチュードです。ユマニチュードとは、フランスのイヴ・ジネスト氏とロゼット・マレスコッティ氏が開発したケアの理念と技術で、“人間らしさを取り戻す”という意味をもちます。私たちは人として生活してお

り、他者も人であることを認めていると思っています。しかし、自分とは違う状態の人と接して対応がうまくいかないとき、心のどこかで“〇〇な人”と相手にレッテルを貼ってしまうことはないでしょうか。例えば、何度説明しても理解していただかず、最終的に怒らせてしまった場合、「あの人は認知症が進んでいるから説明はわからないし、しかたないですね」と同僚と言い合う場合などがそうです。この発言は“重度の認知症だから理解できない”，そして“最終的に相手が怒ったとしても自分の責任ではない”という意味を含んでいます。

本当にこちらには責任がないのでしょうか。医療専門職としてさまざまな状態の相手に合わせた対応をする必要がありますので、学ぶことはありそうです。

ユマニチュードは、“人とは何か”，“ケアする人とは何か”について考える哲学と、細かなケア技術で成り立っています。技術だけを真似ることはできませんが、その場合どこかで壁にぶつ

かります。壁にぶつかったときに、哲学の部分が考え方を広げ、新たな技術の工夫をもたらすので、哲学も技術も不可欠です。

まだ慣れていない他者との接点をもつとき、一番大切なのは、出会った瞬間に相手に与える印象です。ユマニチュードには4つの柱と5つのステップという技術がありますが、この2つの中心的テーマは、“出会いの瞬間”にあります。出会ったときに相手にどのような印象を与えるかによってその後の関係性が左右されます。理念と技術の詳細については、次回以降で説明しますが、まずは、相手の目をしっかり見て、笑顔を見せ(マスクがありますので大きめに笑顔をつくと目じりが下がり声のトーンが上がりよい印象を伝えられます)、自己紹介をしてください。そして、「お薬の説明をよろしいですか?」と一言聞いてから説明を始めてみてください。“相手の同意を得て行う”ことは、相手の“自律”を優先する態度であり、受け入れてもらうきっかけとなります。

どうすれば、相手が自分のことを短時間のうちに“いい人”と認識し、受け入れてくれるだろう? と考えるときのヒントを与えてくれるのがユマニチュードです。

次回からは、ユマニチュードの哲学と、4つの柱と5つのステップというコミュニケーション技術について、詳しくご紹介します。今まで苦手だと思っていた人とのコミュニケーションが楽しくなると思います。

著者プロフィール

伊東美緒：広島県呉市出身。千葉大学看護学部卒業。東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科博士後期課程修了(看護学博士)。東京都健康長寿医療センターにて、20年間、病院・介護施設・在宅での認知症の人とケアする人の観察調査を行ってきた。認知症症状を軽減するためのコミュニケーションに焦点をあてて研究・教育を行っている。



隣の薬剤部・薬局

公益社団法人昭和会 いまきいれ総合病院薬剤課



高橋 真理 薬剤課長

一 病院の沿革、特徴をお教えください

当院のルーツは初代会長（故今給黎満幸氏）が1938年に鹿児島市北部の下竜尾町しもたつおちように医院を開院したことにあります。その後、少しずつ病床を増やし、1989年に450床の総合病院として認可されました。

建物の老朽化と耐震強度の問題のため、建て替えは以前からの課題でしたが、ようやく2021

年1月1日に、鹿児島市交通局跡地に再開発計画として整備中のキラメキテラスの一角を占める現在地に移転しました。以前の場所には、慢性期病床100床かんまちの上町いまきいれ病院が開院し、現在、当院は350床の急性期病院となっています。

当院では救急・がん・周産期の3つの医療を軸に、地域医療に貢献できるよう、多職種が連携して業務に取り組んでいます。救急車受入台数は月に約350台以上、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院に指定されています。

一 薬剤課の活動内容をお聞かせください

薬剤課ではほぼすべての業務を薬剤師全員で分担するローテーション制をとっています。薬剤師にとっては幅広い知識が求められ大変ではありますが、さまざまな患者さまや疾病にかかわることができるのは魅力の一つでもあると思っています。

一 地域における保険薬局や病院との連携状況はいかがですか

近隣の保険薬局とは、2009年より3か月ごとに連携会議を開催しています。外来化学療法における保険薬局への情報提

供を目的とし、2011年に外来がん化学療法レジメンのお薬手帳への記載とがん化学療法に関する合同研修会（3か月ごと）を開催するようになり、2014年に経口抗がん薬チェックシートしーとの運用を開始しました。2015年に院外処方箋への検査値添付と薬剤適正使用のための施設間情報連絡書を開始するなど、保険薬局との情報共有に取り組んできました。2018年には院外処方箋における疑義照会に関する保険薬局との合意書を交わしました。病院・薬局双方の業務効率化や患者さまの待ち時間軽減、より薬学的な疑義照会につながるきっかけとするためです。保険薬局や病院との連携はまだ十分ではないと思いますが、前向きに取り組んでいます。

一 鹿児島県病院薬剤師会など地域の活動が活発と伺いました

鹿児島県病院薬剤師会の各種委員会がさまざまな研修会を企画しており、さらに、鹿児島県薬剤師会と合同で薬業連携研修会なども開催しています。

鹿児島県病院薬剤師会が開催する新任薬剤師研修会は、コロナ禍前は夏に泊りがけで行われていました。抱えている悩みを話し合い解決策を考えるグループワークや講義があり、夕食後は大広間でお酒とともに深夜まで語り合う時間がありました。ここ2年は、近隣施設で半日の講義とオンラインでの意見交換をしています。やはり泊りがけの方が、同期と知り合えるメリットがあると感じています。

また、コロナ禍前には、若手からベテランまで参加できる鹿児島に昔からある遊び「なんこ」をする親睦会や、テニス大会、ボーリング大会などのレクリエーションも行われていました。

鹿児島では、病院名を聞けば所属している薬剤師が思い浮かぶことも多いと思います。知り合いのいない病院に連絡するのは気が引ける人もいますので、困ったときには顔見知りの薬剤師に相談できるなど、地の利を活かして地域連携を実

未来の星に聞く!



岡崎 直樹 さん
(5年目*)

一 入職された理由をお聞かせください

私は、大学時代からがん治療や緩和ケアに興味を持っていました。地域がん診療連携拠点病院である当院では、多数のがん種に対する抗がん薬治療を行って

いるため、興味をもっていた領域を学べると思い見学に来ました。実際に現場で働く先輩薬剤師の話聞いて、研修プログラムを知り、雰囲気もよかったので入職を決めました。また、すでに病院移転が決まっております。なかなか経験できないことですので、それも理由の一つでした。

一 実際に入職された感想をお聞かせください

入職後は研修プログラムに沿って3~4カ月かけて一通りの業務を行った後、ローテー

ションで業務を担当しました。調剤や抗がん薬ミキシング、外来・入院患者さんへの服薬指導などあらゆる業務を経験し学ぶことができました。

病院移転時には、移転当日までに準備することが多く、さらに移転後も具体的に各医薬品をどこにどの順番で並べるかなどを自分たちで考えなければならず、薬剤部門丸ごとの引越ははとでも大変でした。しかし、どのようにすれば働きやすいのかを自分たちなり



写真/石川卓



薬剤課内の調剤室

現できればと思います。

—教育や人材育成へのお考えをお聞かせください

当院の基本理念は「協力、貢献、向上」でしたが、移転時に「教育」が加わりました。新入職員を対象とした入職時の研修やフォローアップ研修だけでなく、主任・管理職を対象とした階層別研修を行うようになりました。2020年度より、他部署の責任者とともに4月に院内の教育研修の年間計画を立て、研修実施に取り組むようになり、看護師特定行為研修も立ち上げることができました。今後、病院機能評価受審に向けたマニュアルの見直しや改善活動に、職員一丸となって取り組もうというところです。

私は研修や業務を通して、「自分にできることは何か」を考えられる人になってもらいたいと考えています。以前、病院実習をするには自分で病院を探さなければなりませんでした。今は病院実習がすでにカリキュラムに組み入れられ、周りがお膳立てをしてくれる環境で育っています。恵まれていることではありますが、「自分に何ができるか」を考えることが少ないのではないかと思います。

病院では多職種で協力し、患者さまに対応して治療を行っています。薬剤師は処方を確認し調剤して患者さまに説明するだけでなく、他の職種と連携するなかで、「自分にできること」を考えられる人になってもらいたいと思っています。そして、

この病院をさらにいい環境に作り上げ、次の世代に引き継ぐことまで考えてもらいたいと望んでいます。今回の移転を経験した人たちは、それを考える機会に恵まれたと思います。

初代会長が病院を開院して以来、経営者とともに働いた多くの職員の努力により、現在の病院が形作られました。お会いしたことのない先輩方の想いをつなぎ、改善すべき点は改めてよりよい状態で次の世代に引き継ぐことも、当院で働く者の使命であると考えています。

—これからの薬剤師がめざすべき方向性についてお考えをお聞かせください

がん治療においては新薬が多数登場し治療の選択肢が増えてきたように、さまざまな疾患で治療成績は向上しています。今後、薬剤師がもう一步踏み込んでかわることで薬物療法がより安全で効果的なものとなり、ポリファーマシーが解消されるなど、患者さまのお役に立てることはまだあると考えています。

—今後の展望や目標をお聞かせください

移転後、職場環境は大きく改善されました。薬剤師を増員してスタッフの負担を軽減し、患者さまへより一層かかわることのできる環境を整えて次の世代に引き継ぐことも私の役割の一つです。

認定・専門薬剤師の取得や学会発表など各々の目標や、子育て中の時間短縮勤務など、それぞれの薬剤師をしっかり応援できるよう、今後も皆で協力して取り組みます。

人が集まる施設にすることは病院としての目標でもあります。まずは当院へ関心をもってもらい、勤務した人が長く働き続けられる、そのような魅力のある病院をめざしたいと思っています。（了）

施設概要

- 所在地：〒890-0051 鹿児島県鹿児島市高麗町43番25号
- 病床数：350床（急性期病床319床、高度急性期病床31床）
- 標榜診療科数：30科
- 薬剤師数：28名

に常に考えるようになり、貴重な経験ができてよかったですと思っています。

—これまで印象に残る出来事はありましたか

あるがん患者さんに服薬指導をすることになり事前に持参薬を確認したところ、内服薬にこだわりをもっていることがわかり、医師からは減薬したいという相談を受けました。実際に患者さんと面談をすることになり、持参薬を見せながら薬効をしっかりと説明し本当に必要か相談したところ、不必要な数種類の薬を減らすこ

とができました。それ以来、患者さんのもとへ行く際には、持参薬を確認して減薬できるかを考えるようになり、そのきっかけになった出来事として印象に残っています。今後は、減薬に対して不安を口にするような難渋する患者さんにも介入できるようになりたいと思っています。

—今後の目標、将来像をお聞かせください

これからがん治療と緩和ケアに関する認定薬剤師をめざしていきたいと考えています。しかし、認定取得がゴールではなく、あくまでも患

者さんのためです。認定取得は簡単ではないと思いますが、そこまでの道のりで得た知識や経験を患者さんのために活かせる薬剤師になりたいと思っています。

また、2022年度からは6年目となり、後輩も増えてきました。興味をもてる分野があれば仕事も楽しくなると思いますので、後輩にがん治療や緩和ケアに興味をもってもらえるように、日々の業務のなかで魅力を伝えて指導できる先輩になることが目標です。（了）

Kyorin 



選択的P2X3受容体拮抗薬/咳嗽治療薬

リフヌア錠45mg

LYFNUA® Tablets 45mg

ゲーファピキサントクエン酸塩錠

処方箋医薬品 (注意—医師等の処方箋により使用すること)

薬価基準収載

新発売

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む注意事項等情報等については電子添文をご参照ください。

発売元

杏林製薬株式会社

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地
(文献請求先及び問い合わせ先:くすり情報センター)

製造販売元

MSD株式会社

東京都千代田区九段北1-13-12

作成年月:2022.4



Kyorin 

ニューキノロン系経口抗菌剤

処方箋医薬品[※]
ラスクフロキサシン塩酸塩錠



ラスビック錠75mg

Lasvic® Tablets 75mg

略号:LSFX

注)注意—医師等の処方箋により使用すること

ニューキノロン系注射用抗菌剤

劇薬、処方箋医薬品[※]
ラスクフロキサシン塩酸塩注射液



**ラスビック®点滴静注150mg
キット**

Lasvic® Intravenous Drip Infusion Kit 150mg

略号:LSFX

注)注意—医師等の処方箋により使用すること

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む注意事項等情報等については電子添文をご参照ください。

杏林製薬株式会社

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地<文献請求先及び問い合わせ先:くすり情報センター>

作成年月:2022.2



ApoTalk No.80 2022 2022年4月8日発行 (第80号) [非売品]

企画: 杏林製薬株式会社 〒101-8311 東京都千代田区神田駿河台4-6 URL: <https://www.kyorin-pharm.co.jp/>

発行: 株式会社 羊土社 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-5-1 電話 03-5282-1211 URL: www.yodosha.co.jp/

装幀: 竹田社一朗 (TAKEDASO, Design) イラスト: 高橋三千男 印刷所: 三美印刷株式会社